



寄付された食料品などを必要な人が自由に取りに来ることができるコミュニティフリッジ（公共冷蔵庫 写真右）。コミュニティフリッジのある倉庫内に設置されている「コミュニケーションボード」には、利用者からの感謝のメッセージが並ぶ（写真上）。

Who is this person?

支援を必要とする人が、人目を気にすることなく食料品や日用品を取りに行ける仕組みをつくった

1977年岡山県生まれ。森林にかかわる仕事を志し、高校では林業を学んだ。中国の砂漠緑化活動に参加したことがきっかけとなり、乾燥地研究センターを有する鳥取大学へ進学。在学中に森林保護やまちづくりに取り組むNPO法人を設立した。現在、一般社団法人北長瀬エリアマネジメント代表理事のほか、特定非営利活動法人岡山NPOセンター代表理事などを務め、「社会編集者」「社会の仕組み屋」として、まちづくりや社会事業の開発・経営にかかわる。2020年11月、個人や企業、商店などから寄付された食料品や日用品を、経済的に困窮する家庭など、支援が必要な人に提供する「北長瀬コミュニティフリッジ（公共冷蔵庫）」の運営をスタートさせた。



コミュニティフリッジには、冷凍・冷蔵食品以外にも、野菜や米、レトルト食品などが並ぶ。



倉庫は商業施設の駐車場の一角にあるため、人目につきにくい。24時間利用が可能。

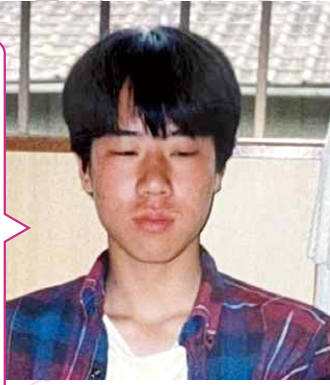
一般社団法人北長瀬エリアマネジメント代表理事 石原達也

支援を受ける人とする人が、
顔を合わせない思いやりで
つながる「公共冷蔵庫」

モノと思いやりを循環させて、人がつながる社会をつくる

「北長瀬コミュニティフリッジ」は、個人や企業などから寄付された食料品や日用品を保管し、それらが必要とする人に、必要な時に取りに来てもらう、「公共冷蔵庫」と呼ばれる仕組みです。

近年、離職や離婚、介護などの事情で経済的に困窮する人が増えていきます。特に、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で増加したのが、ある日突



私の高校時代

林業を学ぼうと思ったきっかけは、国立公園を守るレンジャーの紹介記事を雑誌で読んだことです。高校では農業クラブに所属し、農業鑑定競技会にも出場しました。また、課題研究では、壁面緑化をテーマとした研究に取り組みました。

然職場が閉店・休業するなどして仕事がなくなくなり、収入が途絶えてしまった人たちがいます。そうした人たちにとって、支援を受けるために自分の窮状を他人に説明することは、精神的に大きな苦痛になることがあります。そこで、支援を受ける人と支援をする人が顔を合

わせず、程よい距離感を保つたまま必要な支援が実現される方法を考えた末に、欧米で実践されていたコミュニティフリッジの取り組みを岡山で始めました。

北長瀬コミュニティフリッジは、登録した利用者が、食料品や日用品が置いてある無人倉庫の電子ロックをスマートフォンで解除し、24時間いつでも都合のよい時に利用することができますようにしました。食料品や日用品はバーコードで管理し、利用者はセルフレジのようにバーコードを読み取った上で品物を持ち帰ります。そうすることで、手間暇をかけずに在庫を管理することができるとのことです。

食料品、そして衣料品や書籍など不要になったモノを地域で循環させることは、「誰かを助けたい」という気持ちで人と人をつなぎながら、フードロスや気候変動の問題をも解決する一歩になります。「コミュニティフリッジ

は、どの町にもあってあたり前のものになってほしいと思っています。

社会を変える一歩は当事者意識を持つこと

最近、高校の探究学習にかかわる機会が増えています。1つ気になるのは、生徒が設定している課題の多くが、社会問題の解決と言いつつも、社会の1員である自分とは距離のあるものになっている点です。貧困や格差、ジェンダー平等、脱炭素、どれも自分たちの問題として当事者意識を持って考えてほしい。そして具体的な解決策を考えたら、必ず実験、試行してみたいと、生徒たちに伝えていきます。

私自身、当事者の声が反映される社会づくりに貢献したいという思いは、高校時代に育まれたように思います。入学時に制服のデザインが変わることになったのですが、その過程で生徒が意見を述べる機会がないことに私は疑問を抱きました。生徒会長になった私は、学校生活の当事者である生徒も学校づくりにかかわるべきだと考え、文化祭や生徒会選挙などの改革を進めました。今の高校生も、学校や地域の当事者として、「このままでは駄目だ」

と思っていることがあるはずですよ。

一人ひとりが当事者意識を持って社会問題に向き合い、人を幸せにするためのアイデアを提案し合えば、社会はもっとよくなると私は信じています。私は福祉の専門家ではありませんが、コミュニティづくりの専門家として、コミュニティフリッジという仕組みで経済的に困窮している人を支援しようと考え、実践しました。様々な分野の人がそれぞれの視点で社会問題について考えることが、今後ますます重要になると思っています。

お勧めの分掌

管理職

教務担当

進路担当

担任

